

歯っぴースマイル



Vol.9 平成 18 年 10 月 1 日発行
社団法人 東京都目黒区歯科医師会
目黒区中央町 2-13-11 電話 03-3719-8201
ホームページ <http://www.meguro-dental.or.jp>



八雲あいアイ館 歯科診療所について

☆ 障害者歯科ってご存知ですか？ ☆

「障害者歯科」という言葉をご存知でしょうか？「一般歯科」あるいは「矯正歯科」といった看板をよく見かけますね。他にも「口腔外科」や「小児歯科」などという文字を目にすることもあってはならないでしょうか。



さて、この「障害者歯科」。読んで字のごとく、障害のある方のための歯科診療という意味なのですが、実際のところ障害者の受け入れ態勢を整えている歯科医院というのは、そう多くはありません。これには幾つかの理由があります。例えばエレベーターの無い二階、あるいは三階で開業している歯科医院では車イスの患者さんが通院できません。また、障害のある方の多くは、高血圧症や糖尿病といった基礎疾患を持っているので、治療におけるリスクは高くなります。知的障害のある患者さんでは歯科診療に対する不安や恐怖から拒否を示す場合が少なくありません。このような場合は、通常一回で終わるような簡単な虫歯の治療であっても、慣れるためのトレーニングから始めて、時間をかけ、少

しずつ進めることとなります。場合によっては歯科衛生士数名でおさえながらの治療になることもあります。このような理由から、一般の歯科医院では障害者の治療が困難になっているというのが実情です。

障害があるために必要な歯科治療を受けることが出来ないということがあってはなりません。ところが実際は歯科治療を受けたくても障害があるためにどこの歯科医院に行ったら良いか分からない、誰に相談したら良いか分からない、と困っている方たちが多いのです。

八雲あいアイ館歯科診療所はそういった方のための診療所です。目黒区歯科医師会が目黒区から委託され管理運営しています。平成 13 年の開設以来、今年で 6 年目をむかえ、平成 17 年度までの来院延べ人数は 3181 人を数えました。ここでは障害者歯科の分野で経験豊富な指導医のもと、所定の研修を受けた目黒区歯科医師会会員が担当医として実際の診療を行っています。また診療の他に、年に 1～2 回、実際の介護に携わる方やケアマネージャーなどを対象とした講演会の開催や、毎年行われる日本障害者歯科学会での発表や情報の収集といった活動を続け、障害者歯科の分野において全国的にその知名度を上げてきました。

現在では広報活動や口コミで来院患者数が膨れ上がり、そのために対応が困難になりつつあるという問題を抱えています。今後はこうした問題を目黒区と歯科医師会が協力し合って克服していかなければなりません。ひとりの歯科医師では実現困難な地域医療を実践していくことは公益法人としての目黒区歯科医師会の役割であると私たちは考えます。目黒区民の皆様にもご理解とご支援をいただきたいと思います。



尚、八雲あいアイ館歯科診療所についてのお問い合わせは下記にお願いいたします。また、ご興味のある方は是非ともホームページをご覧ください。その際は、下記のアドレス、もしくは「あいアイ館歯科診療所」で検索してください。

★診療の流れ
1. 予診
2. 初診
3. 診療計画の立案・説明
4. 予防
5. 治療
6. 再評価
7. 定期検診

目黒区歯科医師会 八雲あいアイ館歯科診療所
〒152-0023 目黒区八雲 1-1-8 あいアイ館
TEL.5701-2495 (直通) Fax.5701-2498
<http://www.meguro-dental.or.jp/aiakan/>

☆☆☆ 歯の根の治療 Q & A ☆☆☆

Q. 治療時間と通院回数は？

A. 治療時間は治療方法や治療の進み方によって変わります。特に初回は次回からの治療にそなえ長い時間がかかります。また、通院回数は歯の病状によって違いがありますので主治医の先生に聞いて下さい。

Q. 治療は痛みがともなう事がありますか？

A. 痛みのないように十分配慮して治療します。必要なら麻酔をします。日常生活にさしつかえることはほとんどありません。

Q. 治療した後、根の病気が再発することなく、長持ちしますか？

A. 根につめた材料は長期間変化しません。しかしごくまれに根の中に残っていた細菌が、再び活動を始めることがあります。そういう場合は、根の再治療が必要になります。また、長く持つかと言うご質問ですが、歯を失う原因の大部分は根の病気ではなく、放置したむし歯や歯周病です。したがって治療した歯を長持ちさせるには、歯と歯肉を清潔に保ち、噛み合わせのバランスを良く保つことが重要です。このためには、日頃の適切な口腔衛生習慣と歯科医師による定期検診が大切です。

Q. 神経をとるのにすごく大きな穴が開いているのですが、あんなに削ってだいじょうぶですか？

A. 虫歯の穴は見た目以上に中まで広がっています。根の中まで治療操作が確実におこなえるようにやや拡大し、細菌の感染した悪いところはリーマーなど（細いヤスリ状の器具）を使ってすべて削り取ります。

Q. 痛みがなくなったので治療を中断して放っておくとどうなりますか？

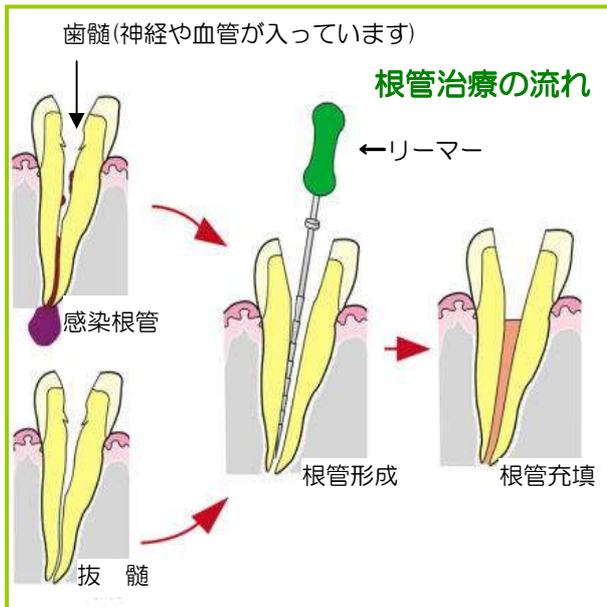
A. 痛みがなくても完治したわけではありません。歯の病気は自然に治ることはありません。放っておくと悪化して抜歯が必要になったり、骨髄炎などの重篤な病気を引き起こしたりすることがあります。中断することなく最後までがんばって治療しましょう。

Q. 根の治療が終わっても咬むときに痛むのですが？

A. 程度の差はありますが、治療後に一時的な痛みが出ることもあります。主治医の先生に経過をよく診てもらいましょう。



☆☆☆ 歯の根の治療方法 ☆☆☆



抜髄処置 (ばつすいしよち)

むし歯などの原因によって歯髓(しずい)が炎症を起こしている場合には歯髓を除去することが必要となります。麻酔で痛みを取ってから、歯の中にある歯髓を取ります。歯の神経を取った後の空洞は、根管充填材により緊密につめる処置を行います。

感染根管処置

根管内が細菌に感染し、根の先から感染物質が広がり、根の外で病巣を作ることがあります。病状には慢性と急性があり、慢性は噛むと何か違和感があったり、浮いている感じがしたりします。急性はかなりの痛みを伴います。感染根管処置は、根管内の汚染物質をリーマーなどにより除去し、時には薬剤を応用したりするなどして、根の先の病巣を治癒させるといった方法です。感染源がなくなって根の先の炎症が治まらないうと、根の中に充填剤を詰められないので時間がかかります。

□□□□□□□□ 目黒区歯科医師会のやっている地域医療活動 □□□□□□□□

♡ 成人歯科健診 ♡ (毎年6月から11月に実施)

40才、45才、50才、55才、60才、65才、70才の皆様には「受診券」が送られます。

♡ 妊産婦歯科健診 ♡

母子手帳と共に「妊産婦歯科健診のご案内」が渡されますので、目黒保健センター(5722-9503)に「受診票」をご請求ください。

♡ かかりつけ歯科医紹介制度・要介護者訪問口腔調査制度 ♡

目黒区役所 健康推進課(5722-9584)にお問い合わせください。

♡ 休日歯科診療 ♡

当番診療所は、めぐろ区報、歯科医師会テレホンサービス(3719-8204)と目黒区歯科医師会ホームページにてご案内しています。

♡ フッ素塗布 ♡ (毎年6月から7月に実施)

小学校就学前の児童には「お知らせ」が送られます。

♡ 八雲あいアイ館歯科診療所 ♡

目黒区歯科医師会会員